

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	公益財団法人阿蘇グリーンストック
活動タイトル	野の花が咲き誇る井手湿地（県指定生息地等保護区）の生物多様性保全活動
活動地域	熊本県



6月23日：セイタカアワダチソウの抜き取り



6月23日：抜き取り作業ボランティア参加者



7月24日：保護目的種のノカンゾウ

【団体概要】

阿蘇グリーンストックは、野焼き支援ボランティアの取り組みを実施し、これまでに4万人を超えるボランティアを受け入れ阿蘇の草原保全に貢献している。また、草原の生物多様性保全のためにトラスト地を所有しその管理を行っているほか、希少性の高いエリアの保全活動も実施している

【活動の目的・目標】

井手湿地は阿蘇の広大な草原の中にある湿地であり、熊本県により生育地保護区に指定されている。ノカンゾウやオグラセンノウ等希少な植物がいまでも生育している。本活動では、このような湿地にすむ希少種を保全するために、希少種の生育状況の現状を把握するとともに保全活動を実施する。

【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

オグラセンノウの生育するエリアでは、刈り取りの強度が強くヒメジョオンの勢力が強くなっていたため、春の刈り取りは中止した。ノカンゾウの生育するエリアも同じような状態にあったが、セイタカアワダチソウの侵入が顕著であったため、刈り取りではなく、その抜き取りを実施した。

【活動の内容・成果】

開催回数：7回

参加人数：31名（うち事務局4名）

達成率：40%

5月から9月まで毎月一回以上のモニタリング調査を実施し、希少植物の生育状態を確認した。

6月にはノカンゾウの生育するエリアにで、侵入が顕著であったセイタカアワダチソウの抜き取りを31名で実施し、うちボランティアの参加者が28名であり、熊本県内外から保全活動にご協力をいただいた。

セイタカアワダチソウの抜き取りを実施した場所では、日光が入るようになり、ノカンゾウをはじめとした多くの植物を確認することができた。

7月には植物の専門家による現地確認を実施し、今後の保全活動の進め方を協議した。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



降雨後の井手湿地の様子
窪地のため、雨水を蓄え、徐々に下流へ放出する。（撮影日：5月9日）



オグラセンノウ
ナデシコ科
環境省カテゴリ：絶滅危惧Ⅱ類
熊本県カテゴリ：絶滅危惧ⅠB類
（撮影日：7月7日）



レンリソウ
マメ科
熊本県カテゴリ：絶滅危惧Ⅱ類
（撮影日：5月27日）



マンセンカラマツ
キンポウゲ科
環境省カテゴリ：絶滅危惧ⅠB類
熊本県カテゴリ：準絶滅危惧
（撮影日：6月27日）